

ハムフェアの会場内への出展を自粛せよ

JJ1SXA/池

一寸前に、「JARL に苦言…19.Jul,2014 記」という記事を書きましたが、本年も、「アマチュア無線家 9 条の会(以下、同会と標記する)」をハムフェアの会場内にブースを割り当てているが、経過の一部がわかりました。

JARL が「政治的に中立であり、アマチュア無線に宗教や政治を持ち込まない」の信念があるならば、出展団体に、「政治的色彩を有さないもの」、「政治的に賛否等の議論が分かれている特定の政策(主張)を支持していないこと」、「会場内で、政治的色彩を有する活動をしないもの」等の条件を付して当然であると思いますが、ようやく昨年までは無かった、「出展についての注意」に、「政治・宗教活動と見られるもの、準じるものは、お断りする場合があります」の文言が入りました。

ハムフェア実行委員会は、「同会」の出展申請に、一応、政治活動は断るような回答をしたらしいが、これに対し、「同会」から反論があり、結局出展を認めたようだ。

以下、「同会会員」のブログ記事引用

…日本アマチュア無線連盟という団体はアマチュア無線家の利益擁護団体だと認識している。日本の電波行政に対して、さまざまな意見や要望を出し、その政策に反映させてきている。こういう行動を一般には政治活動と総称されるものであるが、今回この団体が実行委員会をつくって開催しているハムフェアへの参加条件に憲法について”反対、賛成、守るなど…は政治活動であり、これを行わないこと”ということを主張してきた。

アマチュア無線家 9 条の会の出展申請に対する回答であるが、憲法について”ものをいうな”とは何様か?でもあるが、その理由を問い合わせたが、期限までなんらの回答もなかったのが今年で 6 回目となる出展申請を行い、ブースの割り当ても終了した。聞いてみるといろいろ経過はあるようだが、憲法に関する無理解とか、”政治活動＝悪”なる偏見とかの稚拙な議論を差し引いてみると、アマチュア無線局の運用規範でもある”アマチュア業務”という概念と日本国民としての憲法に保障された諸権利などにかんする問題点の混乱があるように見受けられる。以下略…引用終

「同会」からの反論の主旨は、「そもそも、JARL は、一般には政治活動と総称される行動をしているでは無いか」「憲法についてもものをいうなとは何様か?」といったような内容だ、「そもそも、JARL は、一般には政治活動と総称される行動をしているでは無いか」…だから、その場での「政治活動」も許されるとの論理か?また、「憲法についてもものをいうなとは何様か?」とあるが、JARL がどのような文言で、断ったかは知らないが、非常に気になるところだ。

確かに憲法第十九条では「思想及び良心の自由は、これを侵してはならない」とあり、第二十一条で「集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する」とあります、「同会」が「憲法 9 条を守ろう」という思想を持つこと、「同会」を結成したことは憲法で保障されている、これを咎めることは、何人にも許されません。

そのことを念頭において判断すると、広義では、JARL は、一般には政治活動と総称される行動をしているとも言えますが、「同会」の活動は狭義の政治活動で一緒にすべきものではない。

では、そのような、狭義の政治活動は、何処でやっても良いのか、それは違う、種々の行事が行われる中で、開催の趣旨にそぐわないものについて、主催者が条件を付すことは一般的には常識で許容されている。

またブログには、…アマチュア無線局の運用規範でもある「アマチュア業務」という概念と日本国民としての憲法に保障された諸権利などにかんする問題点の混乱があるように見受けられる。…との記載がある、JARL に対しての批判のようだ。

だが、「同会」は、自身の方の検証をしているのか、そんな様子は無い、「同会」の方こそ、憲法に保障された諸権利を振り回して、「アマチュア業務」の範疇を犯しているのでは無いか？

結局は、自らの主張を強権的に通し、JARL をやりこめて、ブースを確保したという独善的な勝利宣言をしているように受け止められる。

JARL は、何故回答しなかったのか？「同会」の言い分は、ご尤もで、反論の余地は無いと判断したのか？だとすれば、情けない話だ。

前段に書いたように、「憲法 9 条を守ろう」という思想を持つこと、「同会」を結成していることは憲法で保障されており、これを非難、批判はともあれ、否定することは何人にも許されない、当然だ、だからと言って、ハムフェアの会場内で活動が許されるわけでは無い、勘違いしているのでは無いか？

紛れも無く、「同会」は、「政治的色彩を有する」団体であり、「政治的に賛否等の議論が分かれている一方の主張」を支持していることは明白であり、その会が、自分たちの主張をポスターその他でアピールすることは、「政治的活動」であることは、常識的な判断である。

「アマチュア無線に政治は持ち込まない」は原則だ、JARL や「同会」がどのように判断しようとも、私は、「同会」は、ハムフェア会場内への出展は自粛すべきであろうと思料します、後援をしている、総務省、文科省、東京都、読売新聞社他の団体は、この実態を知ったら、どのような判断を下すか？JARL 内部だけの問題では無い。

JARL や「同会」は、視点、論点を見誤っていないか？改革に臨んでいるJARLは真剣に、あらゆる場面で問題の本質を見極めて対処し、前途に広がる暗雲を取り除く最大限の努力をするよう希求する。

(11.Aug,2014 記)